

●この部分は「同じ指を連続使用する」ことで解決します。

譜例-25-a m 指の連続使用

●おそらくこの方法で大方の人は“解決”できると思います。
無意識にそうひいている人がいたかも知れません。

ただ、何となく『歌と違うかな〜』と感じてスムーズにひけない人もいたと思います。

実は前小節の3〜4拍目は、譜例-25-bの「付点音符」のリズムなのです。

譜例-25-b

付点音符になると、m指の連続使用も違和感が小さくなりますが、同じ指の連続使用は1回だけにしておいたほうが将来的に有益です。

八分音符

●八分音符と付点音符について。

八分音符は四分音符の半分の長さの音符で、付点音符は点の付いている音符の1.5倍の長さの音符です。

つまり「四分音符+八分音符=付点四分音符」というわけですが、譜例-26の弧線（タイ）で結ぶ書き方でも表します。

譜例-26

●八分音符の練習。

譜例-27で八分音符の練習をしましょう。

譜例-27

1 ト 2 ト 3 ト 4 ト (同様にカウントする)

*コツは、2つ続く八分音符の後の方を、前の八分音符より“強くひかない”ことです。

荒城の月（メロディー完成品！）

譜例-28